

さかいまち 議会だより

No. 153

平成23年2月1日発行

編集発行・茨城県境町議会
広報編集委員会

〒306-0495 境町391-1

TEL. 0280-81-1316

FAX. 0280-87-5873

ホームページアドレス

<http://www.town.sakai.ibaraki.jp>



境達磨市

今定例会の概要

平成22年第4回定例会は、12月13日から17日までの5日間の会期で開かれ、「境町立幼稚園設置条例を廃止する条例案」や各会計の補正予算の議案などが提出されました。一般質問では、教育について、国道周辺開発について、まちおこしについてなど7名の議員が質問に立ちました。

一般質問では、教育について、国道周辺開発について、まちおこしについてなど7名の議員が質問に立ちました。

提出議案の内容と審議結果

条例の改正

○境町立幼稚園設置条例を廃止する
条例案

【原案可決】

○境町立幼稚園保育料及び入園料徴収条例を廃止する条例案
【原案可決】
○境町立幼稚園長の兼任手当及び旅費の支給に関する条例を廃止する
条例案

【原案可決】

以上、3件の条例案は、少子化による園児数の減少をはじめ、税収の低下や国の三位一体の改革に伴い民営化検討委員会の審議の結果「民営化又は廃園」との答申がなされた。民営化については、施設管理等の課題から引き受けが難しいことや私立幼稚園では認定こども園として新たな幼児教育に取り組むなど、園児の受入が可能であることから、平成23年3月31日廃園することに伴い条例を廃止するもの。
○境町立学校給食センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案

【原案可決】

補正予算

○平成22年度境町一般会計補正予算
(第4号)

【原案可決】

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ210万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ85億9千552万6千円とするもの。

○平成22年度境町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

【原案可決】

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ3千170万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ85億9千552万6千円とするもの。

町道路線の認定

○認定 町道3790号線

・起点 境町大字浦向字中道中35番18地先
・終点 境町大字浦向字中道中35番29地先
・幅員 4・8～5・8m
・延長 125m

○認定 町道2978号線

・起点 境町大字上小橋字作兵衛分418番1地先
・終点 境町大字西泉田字我鬼塚1366番1地先
・幅員 4・8～5・2m
・延長 105m

請願・陳情審査結果

○ TPP交渉参加反対に関する緊急
請願

[採択]

○ TPP交渉参加の撤回を求める意見書

質問及び答弁の全文については、「境町議会ホームページ」に掲載（2月末ごろ）されます。

Q. 小学校ではどのような政治教育がなされ、考える内容になつていいのか。
A. 小学校では社会科の授業で、茨城県や国會議事堂を見学し、行政に

議席5番 須藤 信吉 議員

ンクーポン利用者調査結果に基づいてどのように改善され進められたのか。

てきた。文部科学省より小学校英語活動地域サポート事業の推進地区の指定を受け、全国に先駆けた研究を行なった。児童が外国語に触れ、外国の生活文化に慣れ親しむことができるよう

さかいまち議会だより (2)

○町政への理解を深めるため行政教室内の開催はできないか。

〔教育長〕



A. 商工会との話し合いで80%以上の継続希望があり今回も実施することにした。

〔参考農政商工課長〕

請願

[採択]

○ TPP交渉参加の撤回を求める意見書

猿島郡境町大字長井戸23
茨城むつみ農業協同組合
代理理事組合長 鈴木 博

請願者

〔採択〕

○ TPP交渉参加の撤回を求める意見書

意見書案が議員提案により可決され、地方自治法第99条の規定に基づき、政府関係機関に提出しました。

○ 男女共同参画について
性対象の教室の開催はできないか。

〔教育長〕

○ 國央道周辺開発計画について
Q. 僮称境インター・エンジ開通見通しについてですが、H22年度補正予算で約34・9億円追加され、約84億円（H21年度予算は約82億円）と発表されたが、境町として今後どのように進めて行くのか。又、境町地区内におかれても用地取得に難航している所が数ヵ所あると聞いているが、國交省では、当初計画の平成24年度を2年遅れの平成26年度以降としているが、その後平成26年度開通を目指していくと訂正されたようだ。町としても早期開通を目指したい。又、用地取得に難航しているところがあれば町としても、全面的に協力して行く。

〔副町長〕

○ 男女共同参画について
Q. 過日行われた「女性だけの男女共同参画を考える集い」では意識の改革の必要性が言われた。参画プランの中にどう取り入れるのか。

〔副町長〕

○ 女性リーダー養成のためにも、女性のネットワーク作りは大切と考えるが。

〔副町長〕

A. 今ある推進委員会が一つのネットワークなので、その充実を図ることが重要と考える。

Q. 女性の視点を町政に取り込むためのネットワーク作りは大切と考えるが。

〔副町長〕

A. アンケート結果などを踏まえ基本計画を作成中なので、素案ができ次第、推進委員会へ図りたい。

〔副町長〕

Q. 周辺開発計画の進捗状況について

〔副町長〕

A. 前回アンケート調査したところ回収率が48・2%と悪かったので、今回は重点地域18・7ha（地権者129名）に絞り再度アンケート調査を行い内容分析して進めて行きたい。

〔副町長〕

Q. 小中学校の運動会について

〔副町長〕

A. 各小中学校の学校行事については大きな行事等は前年度に計画を立てている。昨年の猛暑により、児童生徒の健康管理上、小学校の運動会日程を変更したが、苦情や意見が相次いだため今後の運動会開催においては、関係団体と協議していきたい。

〔教育長〕

Q. 7年過ぎた英語教育の推移について

〔副町長〕

A. 当町は、平成16年度より小学校の全学年を対象に英会話の授業を行つ

てきました。文部科学省より小学校英語活動地域サポート事業の推進地区的指定を受け、全国に先駆けた研究を行なった。児童が外国語に触れ、外国の生活文化に慣れ親しむことができるよう

小学校の発達段階にふさわしい体験的な学習を通して実践的な取り組みを行なった。児童が外國語に触れて、外

Q. 教育について

〔副町長〕

A. 職員221名中、女性は79名で35・7%、うち管理職（補佐含む）は61名中、8名で13%である。今後、男女共同参画等に関する職員研修の中で検討していく。

〔副町長〕

Q. プラステンクーポンについて

〔町長〕

A. 当町には、五霞町・坂東市のように開発区域が難しく、アンケート結果等により8～9haの開発地域も検討して行く。

〔副町長〕

Q. 教育関係について

〔副町長〕

A. 小中学校の運動会について

〔副町長〕

A. 各小中学校の学校行事については

〔副町長〕

Q. 予算説明書について

〔副町長〕

A. 近年、各地方自治体においては、予算事業説明書を採り入れ、住民に予算編成についてわかりやすい説明を行つているが、当町でも作成して個別配布していく考えがあるか。

〔副町長〕

A. 境町では、予算に関係する書類については、地方自治法に定められた体系に沿つて作成・公表しているが各地方自治体の事例などを参考にして、経費などを含めて、今後、検討していく

〔教育長〕

Q. これからは、情報公開が住民と行政の協働のまちづくりにおいての基本と考える。事業別予算を含め、町の財政について住民にわかりやすく、示していく必要があると考えるが、具体的な検討をして、作成する考えはあるか。

〔副町長〕

○ 一般質問

〔意見書〕

〔意見書〕

○ 男女共同参画について
性対象の教室の開催はできないか。

〔副町長〕

A. 今ある男女共同参画推進委員会の中で積極的に取り組んでもらいたい。

〔副町長〕

Q. 女性リーダー養成のためにも、女性のネットワーク作りは大切と考えるが。

〔副町長〕

A. アンケート結果などを踏まえ基本計画を作成中なので、素案ができるまで、国交省へ図りたい。

〔副町長〕

Q. 周辺開発計画の進捗状況について

〔副町長〕

A. 地域経済活性化のため、地域の基幹産業である農林水産業と商業、工業等の産業間での連携を強化し、相乗効果を發揮できるよう境町農商工等連携委員会を立ち上げ、消費者、農産物生産者、商工業者等が交流を深め、地産地消の推進と、地域の賑わいを創出し、町の活性化につなげることを目的とし、今年度の菜の花フェスティバルと同時開催したいと計画している。

〔副町長〕

Q. 小中学校の運動会について

〔副町長〕

A. 各小中学校の学校行事については

〔副町長〕

Q. 予算説明書について

〔副町長〕

A. 近年、各地方自治体においては、予算事業説明書を採り入れ、住民に予算編成についてわかりやすい説明を行つているが、当町でも作成して個別配布していく考えがあるか。

〔副町長〕

A. 境町では、予算に関係する書類については、地方自治法に定められた体系に沿つて作成・公表しているが各地方自治体の事例などを参考にして、経費などを含めて、今後、検討していく

〔教育長〕

Q. これからは、情報公開が住民と行政の協働のまちづくりにおいての基本と考える。事業別予算を含め、町の財政について住民にわかりやすく、示していく必要があると考えるが、具体的な検討をして、作成する考えはあるか。

〔副町長〕

A. 現在、各地方自治体の事業別予算説明書などの資料を取り揃えており、今後これらの資料を研究することも、手法を含めて検討していきたい。

【財務課長】

Q. 一例として、長野県小布施町では、一冊370円の経費をかけて町内戸に無料配布を行っており、当戸戸数で換算すると約300万円かかると思う。経費の関係もあるが、ぜひ採り入れていただきたいと考えるが。

A. 費用対効果などを含め、今後、色々な角度から検討していきたい。

【町長】

議席7番 田山 文雄 議員



○福祉タクシーや「マンド交通について

Q. 福祉タクシーをもっと使いやすい仕組みに改善が必要では。また、デマンド交通の導入については。

A. 福祉タクシーをもっと使いやすい内容に変える検討をしていきたい。

【民生部長】

A. デマンド交通は任期中に導入したいと考えている。

【町長】



○福祉タクシーや「マンド交通について

A. 高齢者人口は急増することから更なる体制の充実を図るために有資格者の配置に努めつつ支援をしていきた

Q. 行政として専門窓口を作る事も必要では。

【民生部長】

○中央道の建設状況と周辺開発について

Q. 地域の(仮称)五霞IC、つづくば中央IC間にについて、開通が平成26年度以降になる見通しと発表された。

○住宅用火災報知器の普及状況について

A. 現在、各地方自治体の事業別予算説明書などの資料を取り揃えており、今後これらの資料を研究することも、手法を含めて検討していきたい。

【財務課長】

Q. 当町における現況と取り組みについて

A. 費用対効果などを含め、今後、色々な角度から検討していきたい。

【町長】

議席7番 田山 文雄 議員

○いじめや不登校の問題について

Q. 小学校から中学校へ進学した際の「中一ギャップ」が問題になつていて、当町の現況と取り組みについて

A. いじめ発生の未然防止と早期発見に努めると共に、不登校が解消できよう事例研修、いじめ・不登校問題を抱える教員との面談などの教育相談を実施する事によるスキルアップや学校と適応指導教室と連携し、きめ細かな支援を引き続き実施していく。

【副町長】

議席6番 橋本 正裕 議員

○下水道事業について

Q. 公共下水道事業・農業集落排水事業の現在までの実施状況は。

A. 公共下水道事業はH2年度から着手し、H21年度末現在で、事業費16億2千5百万円、全体計画940haの内404haが完了した。農業集落排水事業は、長田北部地区(下砂井・蛇池・栗山)が平成4年度から12年度まで、18億8千万円、境第3地区(塚崎・横塚)が平成11年から20年度まで、28億円、境第4地区(稻尾・志鳥)が平成13年度から20年度まで、11億2千万円の事業費で供用開始をしている。

【副町長】

議席6番 橋本 正裕 議員

○下水道事業について

Q. 公共下水道事業・農業集落排水

A. 計画地はH25年度以降に事業認可を取得する予定で、農業集落排水については現在のところ計画予定地の事業採択に向け進める予定。

【副町長】

議席6番 橋本 正裕 議員

○中央道・五霞・つづくば区間については、本年度予算が前年度比約6割の約49億円にとどまり、今回増額され補正をあわせても、前年度予算より約24億円少ない。今後当町の計画にも直接影響がでるという観点から、『圏央道の建設状況および周辺開発体の協力を得ながら継続して啓発活動を展開していきたい。

A. 設置普及状況は、広域管内7市町の平均では36・8%で、境町は45%の推計結果で、さらに、関係機関団体の協力を得ながら継続して啓発活動を展開していきたい。

【副町長】

Q. 地区の建設状況および周辺開発について質問する。

議席13番 中村 治雄 議員



うな観光施設の拡充および計画について質問した。

Q. 次の下水道事業の計画予定地は何処なのか。

A. 公共下水道では大歩・中大歩・内門新田地区から整備するのが効率的と思われる。農業集落排水は、境第5地区(若林・百戸地区)を事業採択に向けて推進する予定。

【産業建設部長】

Q. 次の計画予定地区の実施時期は何時頃になるのか。

【産業建設部長】

A. 公共下水道はH25年度以降に事業認可を取得する予定で、農業集落排水については現在のところ計画予定地の事業採択に向け進める予定。

Q. 次の計画予定地区の実施時期は何時頃になるのか。

【産業建設部長】

A. 事業の実施に当たっては、地元住民の理解と協力が重要なことは不可欠で、更に多額の費用がかかり、町の財政事情が大きく左右することになる。

【産業建設部長】

Q. 各地区的個別負担はいくらか。

【産業建設部長】

A. 長田北部は60万円、境第2は56万4千円、境第3・第4は56万1千円。

○境町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案

【即日原案可決】

○境町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例案

【即日原案可決】

以上、3件の条例案は、平成22年8月10日の人事院勧告に基づいて、条例の一部を改正するもの。

【産業建設部長】

平成22年第4回臨時会

平成22年11月29日開会

【町長】

Q. 各地区的個別負担はいくらか。

【産業建設部長】

Q. 境町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案

【即日原案可決】

○境町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例案

【即日原案可決】

以上、3件の条例案は、平成22年8月10日の人事院勧告に基づいて、条例の一部を改正するもの。

教育民生委員会

教育民生委員会では、去る10月22日大洗町を訪問し、学校給食における地元農産物の活用状況についての視察研修をしてきました。

大洗町では町立小学校4校、中学校2校、幼稚園1園の児童生徒に対する学校給食に、平成17年度から地場農産物の消費拡大と地元の安全な食材を使用したいとのことから、茨城県の特別栽培米コシヒカリに認定された大洗町産「日の出米」を使用した「米パン」を学校給食に使用し、翌年の平成18年度から、それまで学校給食を通して購入していた給食用米穀を地元の水田農業担い手組合から購入することも、町農林水産課を通して地元農水産物の共同購入をスタートさせ、地場産品の活用に取り組んでいるとのことです。

給食に活用している地場産品は、

米飯、米粉パンとして地元産「日の出米」を組合から年間約21トンを購入し、米飯給食は週3・5回、米粉パンは月1回を実施しています。

その他、さつまいも、にんじん、だいこんを初めとした農産物、いわしやさんま、ほつき貝などの水産物を地元食材として幅広く給食に活用しています。

地場産品の活用に当つては、地元

産業建設委員会



大洗町にて

生産者との交流を初め、児童生徒や保護者へのPRとして、毎月19日を「食育の日」と定め、家庭用・教職員用の「食育だより」を毎月定期的に発行し、地産地消の取組みへの意識高揚を図っています。また、小学5年生、中学2年生を対象に「食生活に関する調査」を実施するとともに、大洗町では町内小・中学校に児童生徒が2人以上いる世帯に学校給食費の一部補助の制度を設け、子育て支援対策を講じているとのことでした。

当委員会としても、今回の研修の成果を今後の当町の学校給食における地元農産物の活用の課題に向けて役立てていきたいと思います。

まつりに当たつては、「鹿嶋まつり専門部会」を設置し、鹿嶋に新たなものを売るというチャレンジに対するとともに競い合う土俵を作り、鹿嶋の特産物を発掘していくための基礎化活性化及び競争力を高めるために企画しました。

鹿嶋まつりはカシマサッカースタジアムで開催され、2日間で約15万人が来場し、B級グルメ選手権には16店舗が出店、1万2千食が売れて一応の成功を収めたが、出店者の確保やB級グルメ選手権をどのように位置付けをし、商工会や地場産品使用との問題等も今後の検討課題とのことでした。

次に、潮来市では「水郷潮来商い創造祭」が10月23日に地元ショッピングセンターにおいて開催され、またには潮来グルメ12店舗が出店し1万5千人を超える来場者があつたとのことです。

潮来市でも鹿島市と同様にグルメ出店者の確保に大変苦労し、役員等が要請をして参加をもらつたとのことで、出店者には観光協会のホームページに無料で公告掲載ができる特典を付けるなどをして飲食店のPRを最重要課題として取り組んだとのことでした。

また、まつりにはその外、ステージイベント及び1980年以前に生産された国産車及び外車75台を展示した「レトロな力一二二バル」が行なわれ、市内外の方に大変好評だったそうです。

次に、那珂市では例年「なかひまわりフェスティバル」が開催され、模擬店をはじめミニコンサートや花火大会など各種のイベントが行なわれおり、これには4・2haに25万

本を植栽した「ひまわり」畑がフェスティバルを盛り上げています。

那珂市では、夏ではなく晚秋に咲く「ひまわり」の花をまつり活性化の一環として取り組み、ひまわり畑を地元農家の協力により、反当6万8千円で借り上げ、8月に種をまき10月末のフェスティバル開催にあわせ花を咲かせ観賞させています。

このようなか、那珂市商工会では地元特産品の開発を手掛けるため、平成19年度から市の活性化プロジェクトの関連特産品を開発しています。

平成22年度は、市のひまわり用地と別に商工会が3・3haを作付けしましたが、地代は耕作や播種など主に委託したため商工会作付け分は受け市の花であるひまわりの油などを

関連特産品を開発しています。

また、その外にはひまわりの種と那珂市の特産品であるかぼちゃの粉末を作り、うどんに練りこみ試作品を作ったところ好評とのことで、今後、他の野菜も使い5色のうどんを作つて販売して行きたいとしています。

第1回定例会のお知らせ

平成23年第1回境町議会定例会が次の会期日程で開催される予定です。

一般質問をはじめ、特に今回の定例会は平成23年度の新年度予算が審議されますので、町民の皆様には議会を知るよい機会ですので、是非傍聴にお越しください。

3月4日(金)	本会議（開会、提出議案上程・説明）
3月7日(月)	本会議（一般質問）
3月8日(火)	本会議（一般質問、総括質疑）
3月10日(木)	予算特別委員会
3月11日(金)	予算特別委員会
3月16日(水)	常任委員会、本会議（採決、閉会）



那珂市商工会にて

◎広報編集委員会	
委 員	委 員
員 員	副委員長
渡 邊	須 藤
昇	信 吉
	一 男
	健 司
	新 谷
	濱 野
	田 山
	文 雄